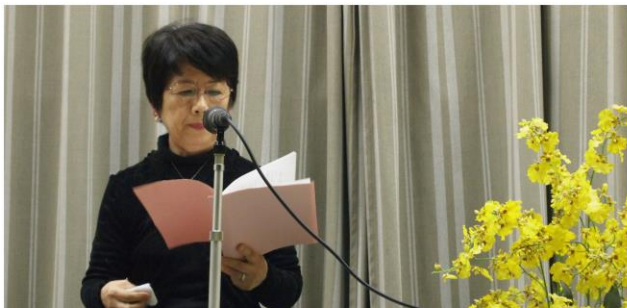


図書館ひろば



第6回「図書館ひろば」開催！



2014年11月30日（日）市立図書館にて第6回「図書館ひろば」が開催されました。当日は280名の方々に楽しんでいただきました。

講演会「おはなしが絵本となって
みんなのもとに届くまで」

いまきみちさん
いまきさんの作品をスライドにして、音楽と共に流し、絵本と違った形で、子どもから大人まで、楽しみました。どの作品も、いまきさんの思いが凝縮されていて、暖かみのある絵の中にも「伝えること」に対する作家の使命感の強さを感じる1時間15分でした。

朗読会「大人のための朗読のつどい」

青木なさ美さん、鹿倉利江さん
座間市内で活躍中の青木さん、鹿倉さんが馴染みある作家の作品、藤沢周平「驟り雨」、宮沢賢治「注文の多い料理店」、秋山ちえこ「小屋住まい」、宮部みゆき「足洗い屋敷」を朗読。しーんと静まり返った集会室に朗読者の声が響き、参加者一人ひとりが物語の世界に引き込まれました。





本のたんていになろう

NPO 法人らいぶらいぶ本を見つけるコツを知って、本のたんていになろうー！と、たんていを募集したところ、12人の希望者が集まってくれました。たんてい手帳で心得や本のひみつを学び、早速フロアへと飛び出し、きえた本を探し出してくれました。これからの活躍が期待できるたんていの誕生です。

録音体験

相模原市録音奉仕会ひばり前回のひろばで録音体験をしてくださった方が、現在、会の入門講座に参加し勉強をしています。今回も私達の活動に興味を持ち熱心に質問された方が数名ありました。また、視覚障害者の参加もあり、嬉しいことでした。

どんぐり人形をつくろう

飛魚環境研究所 サンタ帽をかぶった「どんぐり人形」とクリスマスオーナメントのワークショップを行い

ました。親子で楽しそうに工作していて、とてもかわいい「どんぐり人形」と素敵なオーナメントがたくさん出来ました。

ちえのわづくりのワークショップ

藤野・図書館を考える会 今回、「ちえのわづくり」を行いました。手を動かして試行錯誤する事、最近少なくなりましたよね。柔軟で自由な発想は本を読む楽しさを100倍!!増してくれると思っています。ちえのわときは、年齢関係なく楽しんでいただけ、小さな子でもあつという間にとけました。

本の修繕実演

市立図書館修繕ボランティア 本の修繕実演を廊下で行いました。糸がほどけてしまった児童書や、書き込みをされた新書、糊がとれた漫画などを手際よく直します。廊下を通る方たちが立ち止って質問される姿も見られました。

かんたん、楽しい環境すごろくゲーム

麻布大学 ISO 委員会

今年は開催時期を秋にしたことで、天候の心配なく、たくさんのかたに来ていただきました。去年クイズは参加しにくかったと思いますが、双六にしたことで積極的に遊べて、子どもたちも少し勉強になったと思うので良かったです。また、プラ板はとても好評で、親御さん世代にも楽しんでいただきました。

布絵本・布おもちゃの展示

おはなしワニーズ

日曜日とあって、ご家族連れの来場者が多くにぎやかで楽しい時間を過ごしていただきました。子どもさんの人気は「ままごと遊び」・飾り付けの「デコレーションケーキ」「クリスマスツリー」でした。大人の方は手作り布絵本の温かさや仕掛けに興味があったようです。「サンタをさがせ!」や「ジャックと豆のつる」他のおはなし会を皆さんで楽しんでいただきました。

橋本図書館 調べ学習応援講座 報告

8月10日(日)橋本図書館研修室で「ネットと本で調べ学習講座」が開かれました。当日は、台風11号の影響で大雨だったのにも関わらず、小学3年生から中学2年生までのお子さんが参加してくれました。

最初に講師から、調べ学習の流れを教わります。調べるテーマをワークシートで絞り込んだ子どもたちは、図書館の児童コーナーへ本を探しに行きました。

テーマは、「石鹼」「調味料」「手話」「世界遺産」「ドラえもん」「お金」「パンダ」「妖怪」「リニア新幹線」「やもり」「ウミウシ」「危険生物」とバラエティーにとんでいます。テーマに沿った資料が見つけれなくて、調べのお手伝いをするサポーターと相談しながら、テーマを今一度考え直す子どももいました。橋本図書館での調べ学習の特徴である、ネットも利用します。信頼性の高いウェブサイトを参考にするように、講師やサポーターから声掛けをしました。

後半は調べたことをどんどん書き出し、それを本の形にまとめたり、大きな画用紙に書いたり貼ったりしました。調べる方向性が決

まると、子どもたち2時間休むことなく作業に取り組んでいました。

出来上がった作品には、参加者全員で感想を付箋に書いて、貼っていきます。お迎えに来られた保護者の方も、書いていただきました。貼られた付箋のメッセージを一生懸命読んでいる子どもたちの姿が印象的でした。帰り際に「楽しかった!」という感想が嬉しかったです。

こういったイベントを通して、子どもたちが図書館の色々な使い方を知ってくれるといいなと思った一日でした。参加して下さったみなさま、協力くださった橋本図書館、サポーターのみなさま、ありがとうございました。



Interview 市立図書館修繕ボランティア



「図書館ひろば」で多くの人が足を止めるブースがあります。それは本の修理実演。神業のように本を直してしまう手さばきに、みんなうっとり。そんな修理の現場を見たくて、8月27日（水）、市立図書館の修繕ボランティアさんが活動しているところにおじゃましました。この日は3名の方が修理をされました。このボランティア活動は、市立図書館が2009年修繕ボランティア養成講習会を開き、その時から始まったそうです。当初から続けられている方5名を含め、今は9名のメンバーで活動されています。市立図書館の担当者さんを交えて、色々お話しを聞きました。

本の修理をされている机の周りには、壊れた本が山積みになっていました。利用者から予約のある本や、簡単な壊れの場合は図書館のスタッフが直すので、ここに届く本は重症です。糸綴じ、無線綴じ、と修理方法に分かれて置かれています。修理本は児童書が多く、糸がゆるんだり、ページが破れているものを直していきます。ボランティアさんには好きな修理方法があるとか。男性はのりの修理、女性は糸綴じ修理に分かれる傾向があるようです。

困っていることなども聞いてみました。よくある「セロテープでの修理」について。セ

ロテープは一度貼ると剥がせず、劣化するとパリパリに、粘着部分はベタベタ残るので、決して使わないで、とのこと。図書館では専用ののりやテープを使って修理しています。借りている本が壊れた時は、我流で修理するのではなく、返却の時に、カウンターで「壊れた」と伝えてほしいとのことでした。最近、公民館図書室から、読んだ本にチェックを書き込む人がいるという相談が。しかも一人ではなく、何人かのチェックが書いてあったようです。「図書館の本はみんなのもの」という意識がなくなっているのでしょうか。

今回現場に伺って、修理本の量にとっても驚きました。図書館ユーザーひとりひとりが本を大切に扱うことで、この冊数は解消するのでは、と思いました。インタビューに答えてくださった、Kuさん、Hさん、Kaさん、市立図書館担当Nさん、ありがとうございました。



編集後記

「図書館ひろば」の当日は「はやぶさ2」の打ち上げ予定日。残念ながら悪天候のため延期になりましたが、「ひろば」はとても良い天気にも恵まれ、予定通り開催できました。ご来場のみならず、ご協力くださいました参加団体のみならず、ありがとうございました。(Y.N)

図書館ひろば 第9号 2014年12月24日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間4-23-3 Tel 090-4947-7147 (代表 山本)

Email tunagukai_sagamihara@yahoo.co.jp ホームページ <http://279.islanz.com/wp/>